

Nara National Museum

奈良国立博物館 だより

第 **118** 号

令和3年 7・8・9月



伽藍神立像 部分（当館）

特別
展

奈良博三昧

ー至高の仏教美術コレクションー

7月17日(土)～9月12日(日)
東・西新館

名品
展

珠玉の仏たち

通年開催
なら仏像館

中国古代青銅器

通年開催
青銅器館

特別展

奈良博三昧

―至高の仏教美術「レクニモン」―

7月17日(土)～9月12日(日)

奈良国立博物館は、豊かな仏教文化が花開いた古都奈良の地、東大寺、興福寺、春日大社に囲まれた一角に位置します。明治二十八年（一八九五）にわが国二番目の国立博物館として開館して以来、仏教美術を中心とした文化財の展示公開を行い、全国の仏教美術ファンから「奈良博」の愛称で親しまれてきました。

本展では、奈良博物館コレクションの中から選りすぐった優品によって、日本仏教美術一四〇〇年の歴史をたどって行きます。

「三昧」とは、一つの対象に心を集中することを意味する仏教由来の言葉。熱心にほとけの姿をみることを特に「観仏三昧」と呼びます。ぜひ本展を通じて、奈良博の仏教美術コレクションの魅力を心ゆくまで堪能ください。

（※会期中、展示替えがあります。）



神虫

●辟邪絵 8/17～9/12展示



梅檀乾闥婆



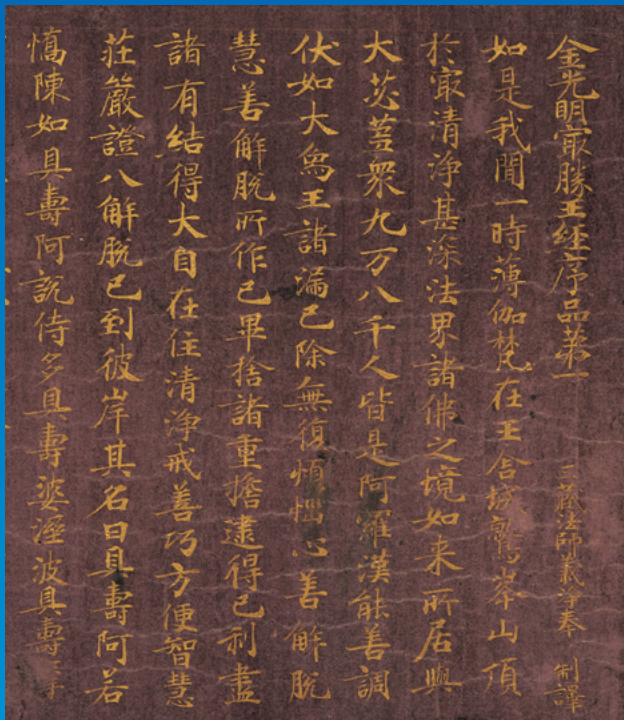
天刑星



毘沙門天



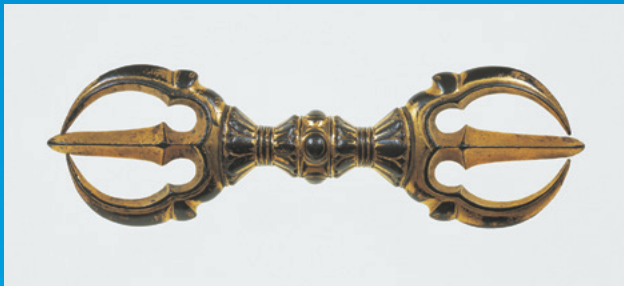
鍾馗



●金光明最勝王經 卷第一(国分寺經) ※写真の部分は7/17～8/15展示



●十一面観音像 7/17～8/15展示



三鈷杵(服部和彦氏寄贈)

特別展 「奈良博三昧—至高の仏教美術コレクション—」 では写真撮影が可能です

特別展「奈良博三昧—至高の仏教美術コレクション—」では、会期中いつでも、展示しているすべての作品や解説パネル、展示室内の風景などを撮影することができます。ご観覧の思い出としてお楽しみください。

また、同時開催の名品展(なら仏像館・青銅器館)では、一部の作品に限って写真撮影が可能です。詳しくは当館ホームページをご覧ください。

- 以下の行為はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。
- ・フラッシュを使用した撮影
- ・自撮り棒や三脚などを使用した撮影、動画の撮影
- ・カメラやスマートフォンのレンズをガラス面に接触させての撮影
- ・そのほか、他のお客様のご迷惑となる撮影
割り込みや、大人数での長時間にわたる集合写真の撮影などはご遠慮ください。
- ・営利目的での撮影、および撮影した写真の商業利用

撮影した写真は、SNSに投稿するなど、インターネット上で公開することができます。

ただし、写真の撮影や公開にあたっては、他のお客様やスタッフの肖像権にご配慮ください。



◎弥勒如来坐像(長崎県鉢形嶺経塚出土) 8/17～9/12展示

※すべて当館蔵

「静かなる仏教美術の聖地」に赴任して

奈良国立博物館長 井上 洋一



松本伸之前館長の後を引き継ぎ、本年四月一日より館長に就任いたしました。

私は一時期、学芸部長として九州国立博物館（以下、九博）に赴任したことはありますが、およそ四十年にわたり東京国立博物館（以下、東博）で過ごし、参りました。専門は日本考古学。中でも銅鐸を中心に日本の青銅器文化の研究を行っております。また長年にわたりこの世界に身を置いてきた関係から博物館学に関する研究もあわせて行っております。

日本考古学の研究員から出発し、教育部門や企画部門の責任者を経て、副館長にこの間、国内のみならず海外の多彩な文化財に光を当てた数々の特別展にも関わり、世界各地を巡ってきました。そこで出会った方々からは実に多くのことを学ばせていただきました。その方々との出会いは今でも私の大切な宝物となっています。

また私は学生時代からシリアの発掘調査に携わり、東博に採用されてからも、シリアでは発掘調査だけでなく、イタリアで文化財の保存修復に関する理論と技術を学んだ経験を活かし、アイン・ダーラという神殿遺跡の保存修復プロジェクトにも参画してきました。しかし、IS（イスラム国）やトルコ軍の暴挙によって、これらの遺跡は無残にも破壊され、さらには、お世話になったバルミラ国立博物館のアサド元館長がISに拘束され、拳銃の果てに斬首刑に処されてしまいました。そのニュースを知ったとき、悲しみを通り越し、怒りで体が震えたことを今でもよく覚えています。

こうした「文化の抹殺」ともいうべき蛮行は何もシリアだけで起こっていることではありません。例えば、アフガニスタンでは、かつてソ連侵攻やタリバンによる攻撃によ

り、多くの貴重な遺跡や遺物が破壊されるとともに国立博物館も甚大な被害を受けました。しかし、戦禍の中、死を恐れず、命がけで貴重な博物館資料を守り抜いた博物館の職員たちがいました。そのお陰で貴重な資料は守られ、その後、極秘にフランスに運ばれ、特別展として一般に公開され脚光を浴びることになります。そしてそれらは現在も国際巡回展というかたちで世界各地をまわり、その価値とそれらを育んだアフガニスタンの歴史と文化の重要性を世界の人々に訴えています。日本でも二〇一六年に九博と東博で開催されました。彼らはなぜ死を覚悟してまで資料を守り通したのか。その答えは、タリバン政権崩壊後に国立博物館の入り口に掲げられたメッセージにあります。「自らの文化が生き続ける限り、その国は生きながらえる」。このメッセージは、単に未来に向けてのアフガニスタンの人々の強い意志を示すだけでなく、全世界の人々に向けられたものでもあると思います。

人間はパンやお米といった食物がなければ生きていきません。しかし、そこに豊かな心がなければ、人間らしい生活は送れません。その豊かな心を育むのが文化です。文化は人間生活において極めて重要なものだと思います。

このメッセージに込められた真の意味を多くの方々が、すばらしいアフガニスタンの秘宝の輝きとともに心に刻んでくださることを願っています。

ところで、私はこれまでに奈良の数々の寺社の特別展の企画と運営にも携わってきました。また、奈良には私が専門とする考古学の二大聖地があります。奈良文化財研究所と橿原考古学研究所です。学生時代からこの二つの研究機関の先生方にはいろいろと指導を賜り、貴重な遺跡の発掘調査の状況も見させていただきました。こうしたことから奈良には格別な思いもあります。

聖地といえば、私にとって、奈良国立博物館（以下、奈良博）は「静かなる仏教美術の聖地」です。まさか、私とその聖地の館長になるとは誰が予測されたでしょうか。しかし、任命されたからには、もとより非力ではありますが、今までの伝統を重んじつつ、そこに革新性を採り入れながら多くの方に愛され、親しまれる博物館を目指しがんばりたいと思います。

そしていま、コロナ禍で社会全体が厳しい状況だからこそ、なぜ博物館が文化財を収集、保管、展示をするのか、その基本に立ち返りたいと思います。

博物館資料はさまざまなことを私たちに教えてくれます。歴史、伝統、文化、環境、美、

悪い、そして生きていくためのさまざまな知恵。さらに戦争の悲惨さ、人間の愚かさ、そして平和も同時に教えてくれます。学芸員によってもたらされた学術的・芸術的なさまざまな情報をもとに展示された資料を鑑賞することによって、来館者はそこから多くを学び、豊かな感性を育むことができます。だからこそ博物館にはその資料を守り、その価値を十分に理解し、その価値を来館者のみならず広く市民に伝える重要な役割があるわけです。

博物館を通して得た豊かな心は、精神的豊かさや生活の質の向上を重視する平和で自由な成熟社会を根底で支える哲学を創造する原動力となるはずで。そして、それが結果として市民のための博物館の形成につながり、博物館が単なる知の宝庫としてだけでなく、市民が心豊かに平和で健全な生活を営むための真の社会教育施設へと成熟していくのだと思います。

現在私たちはコロナの影響で心が尖り、なんとなく社会全体がギスギスしているように感じませんか。もし、そう感じたら、是非、近くの博物館・美術館に足を運んでみてください。そして、ゆっくり自分のお気に入りの作品と対話をしてみてください。きっと、心が丸く、気持ちが落ち着くと思います。

不安で先がよく見えないこういう時だからこそ、心を豊かに保つため、文化・芸術は私たちの生活に必要な不可欠なものです。そして、現状を冷静に分析するためには歴史に学ぶ必要もあります。

私は医者ではありません。ですので、人の命を救うことはできません。しかし、私は、文化・芸術の力で人の心は癒せると信じています。そして、一歩踏み込んで言えば、われわれは、文化・芸術の力で人の心を癒す、人の心を守るエッセンシャルワーカーでもあると思っています。人は心が折れたら健全な社会生活が営めなくなってしまうます。それゆえ、その具現化のためにも、誰もが安全で、安心して楽しむことができる博物館を目指さなければならないと思っています。

心を守り、心を健康にする栄養とエネルギーの補給のため、そして、心たおやかにこの時代を生き抜くためにも博物館はなくてはならない存在なのです。

最後に。私には野望があります。そのひとつは私がこれまでさまざまな形で関わってきたイタリア、トルコ、シリア、アフガニスタン、パキスタン、中国、韓国、そして奈良を繋ぐ、大シルクロード展の開催です。そしてもうひとつ、「日本に行ったら、奈良に行ったら、是非、行きたい博物館」、否、「奈良博を観るために奈良に行きたい」と思っていただけのような博物館を夢見ています。

「夢見ることができれば、それは実現できる」。このウォルト・ディズニーの言葉を胸に精進するつもりです。どうぞよろしく願いいたします。

◆奈良国立博物館賛助会

令和3年7月1日現在、特別支援会員2団体、特別会員4団体、一般会員(団体)16団体、一般会員(個人)75名のご入会をいただいております。

〔特別支援会員〕 (株)読売新聞大阪本社、結の会

〔特別会員〕 (株)奥村組西日本支社、(株)朝日新聞社、
(株)ライブアートブックス、(株)ゴードー

〔団体会員〕 日本通運(株)関西美術品支店、(株)尾田組、
(株)伏見工芸、(株)木下家具製作所、
(株)天理時報社、(株)きんでん奈良支店、
奈良信用金庫、ひかり装飾(株)、(株)南都銀行、
小山(株)、茶道裏千家淡交会奈良支部、
オフィス・カワイ、(株)葉風泰夢、桃谷樓

〔個人会員(新規)〕 安達 務様 令和3年4月ご入会
福田 陽造様 令和3年5月ご入会

◆「奈良博プレミアムカード」 「国立博物館メンバーズパス」のご案内



プレミアムカード



メンバーズパス

当館の特別展及び国立博物館4館の平常展をお得にご観覧いただける「奈良博プレミアムカード」、国立博物館4館の平常展を無料で観覧できる「国立博物館メンバーズパス」を販売しております。令和3年4月より、Webからの購入が可能になりました。

詳しい情報は左記QRコードからご確認いただくか、当館観覧券売場へお問い合わせください。



【表紙解説】

伽藍神立像

木造 彩色
像高五六・三cm
鎌倉時代(十三世紀)
当館

この像は、大正六年(一九一七)に出た『立目録』(オークション・カタログ)に「一 運慶作木彫走り大黒天(中略)大隅志布寺伝来」と紹介されていた。以来、当館の所蔵品になってからも「走り大黒」の通称で親しまれてきた。ところが、十年前程に、このようなポーズの像が、禅宗の寺院などで祀られる伽藍神だと判明したのである。それは、走り回る福の神ではなく、修行を怠る者を懲らしめるために釘と槌を持って走り回る、お寺の見回り役だという。それを知ると、ユーモラスな姿がちよっと恐ろしい姿に見えてこないだろうか。

岩井 共二(当館学芸部美術室長)
◆特別展「奈良博三昧―至高の仏教美術コレクション」にて展示

出陳一覧

名品展

珠玉の仏たち

なら仏像館

7月6日(火)～

彫刻

第1室

阿弥陀如来立像

十一面観音菩薩立像

不動明王立像

天部形立像

藏王権現立像

狛犬

第2室

虚空蔵菩薩坐像

天部坐像

文殊菩薩坐像

毘沙門天立像

菩薩立像

第3室

阿弥陀三尊像

薬師如来坐像

阿弥陀如来立像

阿弥陀如来立像

阿弥陀如来立像

第4室

三尊博仏

塑像片

(奈良県薬師寺西塔跡出土)

小型独尊博仏

(三重県夏見庵寺出土)

塑像断片 明日香村教育委員会

(迦楼羅頭部ほか)(奈良県川原寺出土)

塑像断片

(天部・僧形像ほか)(滋賀県雪野寺出土)

第5室

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

誕生釈迦仏立像

金剛力士立像

※特別公開

第7室

光背(二月堂本尊所用)

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

観音菩薩立像

第11室

伊豆山権現立像

大将軍神坐像

大将軍神坐像

蔵王権現立像

十二神将立像(子巳神)

持国天立像・増長天立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

天部形立像

名品展

中国古代青銅器(坂本コレクション)

青銅器館



鳳凰文印

中国古代の商(殷)から漢代に製作され、青銅器の逸品を展示しています。

※〇〇国宝、〇〇重要文化財
※展示品は都合により一部変更する場合があります。

◆キャンパスメンバーズ

特別展「奈良博三昧ー至高の仏教美術コレクションー」ではキャンパスメンバーズを対象に、学芸員による解説付き鑑賞会を実施します。

詳細は、当館ホームページまたは右記QRコードよりご確認ください。



令和3年7月1日現在、「キャンパスメンバーズ」会員の大学等は以下の通りです。

大阪大谷大学、大阪大学・大阪大学歯学部附属歯科技工士学校、関西大学・関西大学第一高等学校・関西大学北陽高等学校・関西大学高等部、関西学院大学・聖和短期大学・関西学院高等部・関西学院千里国際高等部・関西学院大阪インターナショナル、京都外国語大学・京都外国語短期大学、京都工芸繊維大学、京都女子大学・京都女子高等学校、京都精華大学、京都大学、京都橘大学、近畿大学文芸学部・近畿大学大学院総合文化研究科、嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学、四天王寺大学人文・社会学部、就実大学人文科学部、帝塚山大学、天理大学、同志社大学・同志社女子大学・同志社高等学校・同志社香里高等学校・同志社女子高等学校・同志社国際高等学校、奈良教育大学、奈良県立大学、奈良工業高等専門学校、奈良女子大学、奈良先端科学技術大学院大学、奈良大学、佛教大学、立命館大学・立命館大学大学院、龍谷大学・龍谷大学短期大学(以上、五十音順)

❖ 特別展「奈良博三昧ー至高の仏教美術コレクションー」❖

◆公開講座

- 7月24日(土) 「観仏画三昧ー奈良博仏教絵画コレクションをあじわうー」
谷口 耕生(当館学芸部教育室長)
[受付期間/6月28日(月)10:00~7月23日(金)17:00]
- 7月31日(土) 「仏教工芸の魅力ー奈良博のコレクションからー」
三本 周作(当館学芸部研究員)
[受付期間/7月5日(月)10:00~7月30日(金)17:00]
- 8月7日(土) 「奈良博の仏像コレクションー種類と時代ー」
岩井 共二(当館学芸部美術室長)
[受付期間/7月12日(月)10:00~8月6日(金)17:00]
- 8月28日(土) 「古写経と古代文字史料」
野尻 忠(当館学芸部資料室長)
[受付期間/8月2日(月)10:00~8月27日(金)17:00]
- 9月4日(土) 「ちょっと良いかも、奈良博の考古」
吉澤 悟(当館学芸部長)
[受付期間/8月9日(月)10:00~9月3日(金)17:00]
- 9月11日(土) 「仏教美術の殿堂ー奈良博コレクション形成史ー」
宮崎 幹子(当館学芸部情報サービス室長)
[受付期間/8月16日(月)10:00~9月10日(金)17:00]

【時 間】 13:30~15:00(13:00開場)

【会 場】 当館講堂

【定 員】 90名(事前申込先着順)

【申込方法】 当館ホームページより必要事項をご入力の上、お申し込みください(WEB申込のみとなります)。

【申込受付期間】 各講座欄をご覧ください。

- ※聴講無料(展覧会観覧券等の提示は不要です)。
※聴講には事前申込が必要です(当日申込でのご参加はできません)。
※入場の際には、受付完了メール画面をご提示ください。
※応募は各回お1人様1回でお願いいたします。
※定員に達し次第締め切りとさせていただきます。

本公開講座は、終了後YouTube「ならはくチャンネル」での期間限定無料公開を予定しています。

詳細につきましては後日ホームページで発表いたします。

❖ 特別展「奈良博三昧ー至高の仏教美術コレクションー」イベント❖

◆親子ワークショップ 切り絵でアート ならはくの仏像

【講 師】 西村 幸祐(切り絵作家)

【日 時】 7月23日(金・祝)

1回目 10:00~11:00

2回目 14:00~15:00

(各回10組 要申込・抽選)

【申込締切日】 7月11日(日)

【対 象】 小学生以上のお子様とその保護者

【参 加 費】 無料(ただし、本特別展の観覧券又は半券等のご提示が必要です)

【申込方法】 当館ホームページより、お申し込みください。

■新型コロナウイルス感染症対策について

当館では引き続き、新型コロナウイルス感染防止のための対策を行っています。ご来館に際してはマスクを着用し、咳エチケットにご留意ください。アルコール消毒や手洗い、検温等にご協力ください。

なお、展示やイベント等につきましては、状況に応じ実施内容に変更が生じる可能性があります。あらかじめご理解いただけますようお願いいたします。

❖ サンデートーク ❖

美術や歴史のこと、博物館の活動など、当館ならではの多彩なテーマ、日頃聞くことの出来ない「通(つう)」なお話をご用意して、皆様をお待ちしております。どうぞお気軽にご参加下さい。

- 7月11日(日)
「古代寺院の出土品が語るもの」

中川 あや(当館学芸部企画室長)

古代寺院の発掘調査では様々な種類の遺物が出土します。屋根瓦をはじめ、仏像や仏具、堂内の飾り、僧侶達の生活道具、祭祀の道具など…。全国各地の寺院址出土品を通して、古代寺院をめぐる多様な活動をご紹介します。

[受付期間/6月21日(月) 10:00~7月10日(土) 17:00]

- 8月8日(日)
「保存修理指導室のお仕事ー博物館科学の役割ー」

安藤 真理子(当館学芸部研究員)

「博物館でどのような仕事が行われているのか?」このような疑問をお持ちになったことはないでしょうか。展示・保管環境、修理や科学調査を担う保存修理指導室での博物館科学のお仕事に焦点を当てて、ご紹介します。

[受付期間/7月19日(月) 10:00~8月7日(土) 17:00]

- 9月12日(日)
「あこがれの天平絵画」

萩谷 みどり(当館学芸部研究員)

奈良時代、豊かな仏教文化を体現する数々の絵画が描かれました。その多くは今日に伝わりませんが、残された作品から天平絵画の姿を探り、それらが後世に与えた影響についても考えてみたいと思います。

[受付期間/8月23日(月) 10:00~9月11日(土) 17:00]

- 10月3日(日)
「絵はがきと仏像研究」

山口 隆介(当館学芸部主任研究員)

たった1枚の絵はがきが、仏像の知られざる歴史の一側面を明らかにすることがあります。仏像研究における絵はがきの有用性について、近年の調査成果をふまえてお話しします。

[受付期間/9月13日(月) 10:00~10月2日(土) 17:00]

- 11月21日(日)
「奈良博の壺」

吉澤 悟(当館学芸部長)

奈良博が所蔵する「壺」の色や形の良し悪し、鑑賞のポイントなど、壺を観る時のツボをご案内します。紹介作品(予定):縄文晩期の壺、奈良時代の須恵器短頸壺、平安時代の猿投灰釉壺、常滑三筋壺、渥美蓮弁文壺、古瀬戸草花文瓶。

[受付期間/11月1日(月) 10:00~11月20日(土) 17:00]

- 12月19日(日)
「閻魔王と地獄の美術」

内藤 航(当館学芸部研究員)

人はこの世を去った後、閻魔王に裁かれて次の行き先が決まるー古代インドで生まれたこの考えは、中国を経て日本に流入し、多様な造形が生まれました。その魅力と信仰について、鎌倉時代の彫像を中心にをご紹介します。

[受付期間/11月29日(月) 10:00~12月18日(土) 17:00]

【時 間】 各回とも14:00~15:30(13:30開場)

【会 場】 当館講堂

【定 員】 各回90名(事前申込先着順)

【申込方法】 当館ホームページより必要事項をご入力の上、お申し込みください(WEB申込のみとなります)。

【申込受付期間】 各講座欄をご覧ください。

- ※聴講無料(展覧会観覧券等の提示は不要です)。
※聴講には事前申込が必要です(当日申込でのご参加はできません)。
※入場の際には、受付完了メール画面をご提示ください。
※応募は各回お1人様1回でお願いいたします。
※定員に達し次第締め切りとさせていただきます。

やくし によらい ぎ ぞう 薬師如来坐像

木造 古色(現状)
像高76.0cm
平安時代(10～11世紀)
奈良 高福寺



県内の南西端に位置し、北部は高野山と接する野迫川村の
高福寺に伝来。弘法大師空海の作と伝承され、地元の守り本尊
として信仰を集めている。

頭体幹部は木心を込めた針葉樹とみられる一材から造り、
内削りを施さない古様な構造をとる。大きな肉髻や下膨れの面
部、奥行きが深く肩幅の広い堂々とした体つきなどに平安時代
初期の名残を留めながら、伏し目の表情や衣の襷が峰を低く抑
えつつ等間隔に配されることから、制作時期は10世紀後半から
11世紀初頭のうちに収まると考えられる。また、たぐり寄せた衣
の一部を左の脇腹と腕の間からのぞかせ、さらに左袖口と左手
先を脚部材と共木から造るなど、ユニークな表現や技法も注目
される。

本像は矧ぎ目の緩みや手指の欠失、右手首先の脱落など痛ま
しい状態にあったが、令和2年(2020)度に公益財団法人美術
院により実施された保存修理で像容が回復した。安置される本
堂は改修中であることから、このたびなら仏像館で公開する運
びとなった。よみがえった偉容を間近でご覧いただきたい。

内藤 航(当館学芸部研究員)

◆名品展「珠玉の仏たち」にて、7月6日～12月19日に展示。

展示品の みどころ

むさしの ず 武蔵野図

横山大観筆
絹本着色
縦55.4cm 横93.6cm
明治28年(1895)
当館(南澄氏寄贈)



近代日本画の巨匠・横山大観(1868～1958)初期の代表作。
西洋絵画の遠近法を強く意識した深い奥行きをもつ画面の中
に、秋の草花が咲き誇る武蔵野の景観を装飾性豊かに描いて
おり、大観が描く現存最古の富士山の絵としても大変著名な作
品である。

大観が本図を描いたのは、京都市美術工芸学校の教員を務
めていた明治28年(1895)のこと。当館の前身である帝国奈良
博物館は、まさにこの年に開館している。その開館当初のコレ
クションには「浄瑠璃寺木造吉祥天立像」や「禅林寺山越阿弥陀
図」など大観が描いた仏像・仏画の模写が4件含まれている
が、これらの模写事業は明治政府が当時進めていた文化財保
護政策の一環として、大観が開校して間もない東京美術学校
(現東京藝術大学)の卒業生が依頼を受けたものだった。

大観が当館開館の年に描いた古画模写と本作品が、100年
以上の時を隔てていずれも奈良博コレクションとして再会した
ことに、深い縁を感じずにはいられない。

谷口 耕生(当館学芸部教育室長)

◆特別展「奈良博三昧～至高の仏教美術コレクション」にて、8月17日～9月12日に展示。

■開館日時(7月～9月)

■開館時間／午前9時30分～午後5時

※特別展「奈良博三昧」会期中は特別展・名品展とも午後6時まで。
土曜日は午後7時まで。
※8月15日(日)は名品展のみ午後7時まで。

■休館日／毎週月曜日

※ただし8月9日(月・祝)は開館。

■観覧料金 名品展

	一 般	大学生
個人(当日)	700円	350円

※高校生以下および18歳未満の方、満70歳以上の方、障害者手帳またはミライロID(ス
マートフォン向け障害者手帳アプリ)をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。
※奈良国立博物館キャンパスメンバーズ加盟校の学生及び教職員の方は無料です。
※開館時間延長日の午後5時以降に観覧される方は一般100円引き、大学生50円引き
とします(レイト割引)。
※高校生以下および18歳未満の方と一緒に観覧される方は一般100円引き、大学生
50円引きとします(親子割引)。
※事前予約の必要はありません。

■観覧料金

特別展「奈良博三昧～至高の仏教美術コレクション」

	一 般	高校・大学生	小・中学生
前売券	1,300円	800円	300円
当日券	1,500円	1,000円	500円

※前売券の販売は7月16日(金)までです。当館観覧券売場、近鉄主要駅、ローソンチ
ケット(コード51726)、チケットぴあ(Pコード685-658)、イープラスなど主
要プレイガイド、セブンイレブン他コンビニエンスストアでご購入ください。
※本展覧会は日時指定制ではありません。事前予約の必要はありません。
※未就学児及び障害者手帳またはミライロID(スマートフォン向け障害者手帳アプ
リ)をお持ちの方(介護者1名を含む)、奈良博プレミアムカード会員の方(1回目及
び2回目の観覧)は無料です(要証明)。
※奈良国立博物館キャンパスメンバーズ会員(学生)の方は、当日券を400円でオ
ークレイトいただけます(要証明)。
※観覧当日に証明書・会員証などの提示が必要です(一般と小学生以下を除く)。
※団体料金の設定はありません。
※館内が混雑した場合は、入館を制限する場合があります。
※本展の観覧券で、名品展(なら仏像館・青銅館)もご覧になれます。



○バス停
[交通案内] 近鉄奈良駅下車徒歩約15分、または
JR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良交通、市内循環
バス(外回り)「氷室神社・国立博物館」下車

※当館には駐車スペースがございませんので最寄りの
景官駐車場等(有料)をご利用ください。



奈良国立博物館
Nara National Museum

〒630-8213 奈良市登大路町50(奈良公園内)

ハローダイヤル 050-5542-8600

ホームページ <https://www.narahaku.go.jp/>

『奈良国立博物館だより』は、1・4・7・10月に発行します。郵送をご希望の方は、何月号かを
明記し、返信用封筒を同封して、当館の情報サービス室にお申し込みください。
※返信用封筒には宛名を明記し、長形3号の場合は94円切手を、角形2号の場合は120円
切手を貼付してください。